

令和5年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

羽島市地域公共交通協議会 (羽島市)

平成27年1月21日設置

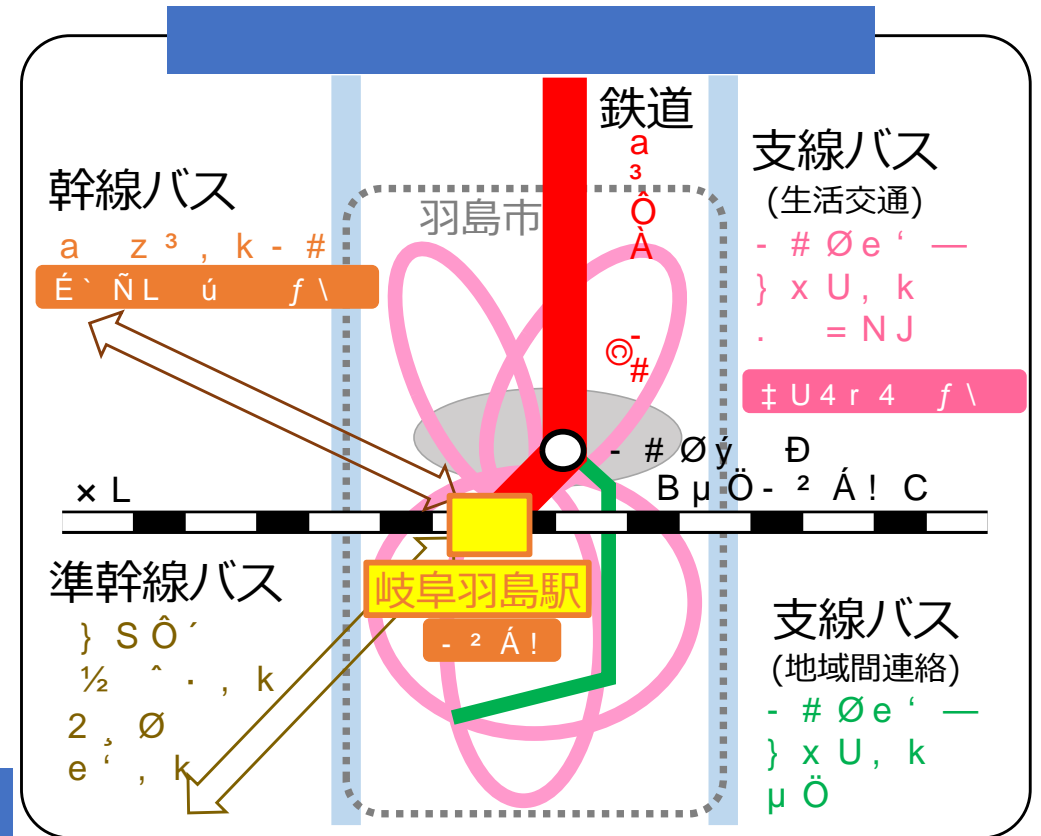
令和2年3月 羽島市地域公共交通網形成計画策定
(計画期間：令和2年4月～令和7年3月)

令和4年6月28日 フィーダー系統 確保維持計画策定等

令和6年1月19日 令和5年度評価結果送付

- 岐阜羽島駅を交通結節点として、広域的には鉄道や路線バスが、地域内ではコミュニティバスが運行
- 高齢化の進展に伴い、都市間移動や日常生活の足として、各地域の移動ニーズにも対応した商業施設・医療施設等へのアクセスの確保が一層重要
- 令和2年3月策定の「羽島市地域公共交通網形成計画」に基づき、当該計画が掲げる本市の地域公共交通目指す将来像である「人と暮らしをつなぎ、みんなで支えあう地域公共交通体系の構築」の実現に向けた取り組みを実施

fl & * L



『人と暮らしをつなぎ、
みんなで支えあう地域公共交通体系の構築』

- ① みんなの暮らしを便利にする公共交通の実現
- ② 人の交流やにぎわいを生み、まちを活性化させる公共交通の実現
- ③ みんなが知っている、気軽に使える公共交通の実現
- ④ みんなが協力して支えあう公共交通の実現

令和6年1月

地域内フィーダー系統補助の必要事項を記載し、
「羽島市地域公共交通計画」に名称変更

- 公共交通のPR
- GTFS-JPの整備
- バスロケーションシステムの導入
- デジタルサイネージの設置
- 高校生の通学に対する補助
- 運転免許証自主返納支援事業
- 多様な主体との連携による利用促進策
- 運転手確保対策の実施

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料3

令和6年1月19日

協議会名: 羽島市地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
岐阜羽島バス・タクシー株式会社	東・はしまわる線	<p>・令和5年6月にバスロケーションシステムをコミュニティバス全線に本格導入した。</p> <p>・利用促進策として、イベントなどでの周知、高齢者の運転免許証自主返納者への特典付与事業、高校生のバス通学定期購入補助事業、公共交通利用ガイドの発行・全戸配布の取組を継続して実施した。</p>	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>A</p> <p>年間利用者数 【目標】6,400人 【実績】7,333人 特別支援学校の通学利用やカネスエ竹鼻店の乗降者数が増加したこと等によりコロナ禍前の水準まで回復し、目標を達成できた。</p>
	西・はしまわる線		A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>C</p> <p>年間利用者数 【目標】6,610人 【実績】5,959人 コロナ禍の影響で最も落ち込んだ令和3年度から10%程度増加したものの、市民病院等の乗降者数の低迷が続き目標が達成できなかった。</p>
	中・はしまわる線		A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>A</p> <p>年間利用者数 【目標】12,410人 【実績】15,040人 羽島温泉の乗降者数の増加が大きくコロナ禍前の水準まで回復し、目標を達成できた。パロー羽島インター店やカネスエ竹鼻店の乗降者数もコロナ禍前の水準以上にまで増加しており、買い物での利用もほぼ回復している。</p>
	温泉・はしまわる線		A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>C</p> <p>年間利用者数 【目標】14,560人 【実績】13,235人 羽島温泉の乗降者数の増加が大きく最も落ち込んだ令和3年度から19%程度増加したものの、目標値は達成できなかった。パロー羽島インター店やカネスエ竹鼻店の乗降者数はコロナ禍前の水準程度まで増加しており、通院・買い物での利用もほぼ回復している。</p>

・新たな公共交通利用者を獲得するため、従来のコミュニティバスとは異なる公共交通手段として、デマンド型交通「mobi」の実証実験(民間提案事業)を実施した。市民ニーズの把握や既存の公共交通との相乗効果、また外出機会の創出による地域活性化等を検証し、今後の公共交通のあり方を検討していく。

・幅広く公共交通の関心を高めるため、イベント、学校行事など様々な機会を捉え、公共交通のPR・利用促進を図る。

・GTFPSを活用した検索システム等への対応、バスロケーションシステム、デジタルサイネージの他、ICTを活用した情報提供を行う。

A 目標値+10%以上達成

B 目標値を達成

C 目標値を未達成

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月19日

協議会名:	羽島市地域公共交通協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>羽島市は、市の中央部に県内唯一の新幹線駅である岐阜羽島駅を有し、「岐阜県の玄関口」としての役割を担っている。また岐阜羽島駅を交通結節点として、広域的には名鉄竹鼻線・羽島線、名阪近鉄バス羽島線や海津市及び輪之内町のコミュニティバスが、地域内では羽島市コミュニティバスが運行されている。</p> <p>高齢化の進展に伴い、都市間移動や日常生活の足として、商業施設・医療施設・公共施設等へのアクセスの確保が一層重要となるため、公共交通の確保・維持に対する取り組みを進めていく必要がある。</p> <p>[羽島市地域公共交通網形成計画の目標] 『人と暮らしをつなぎ、みんなで支えあう地域公共交通体系の構築』</p> <p>[同計画の期間] 令和2年度～6年度</p> <p>[基本方針] ① 地域の日常生活を支える公共交通サービスの確保 ② まちづくりと連携した公共交通ネットワークの形成 ③ わかりやすく誰もが利用しやすい環境の整備 ④ 多様な主体との連携による交通まちづくりの推進</p>